

地域創生型観光に向けて

新しい年を迎えられ、皆様の一層のご多幸をお祈りします。

一昨年来のコロナ禍等により、テレワークやネットショッピングの拡大等社会システムが大きく変化しています。観光も同様で、以前の大型・団体型のマストツーリズムから地域文化、歴史、生活を見るマイクロツーリズム型の個人旅行へのスタイルに移行しています。

この様に価値観の変わる時代において、既存の観光資源のみではなく、旅行者の求める多様で新たな資源を見えるものはより見えるように、見えないものを見えるように掘り出して行く「宝さがし」の視点が求められています。

この時代に「宝」を観光資源に活かすには、誰よりも地域に愛着を持ち、地域を自らの生活とリンクさせながら案内できる人が不可欠であります。地域の内外を問わず自己と資源の関わりを精査しながら、地域の観光資源を自発的にPRする「ボランティアガイド」と呼ばれる人々の活動が必要です。活動の輪が広がり組織化され、多様な旅行者やリピーターを受け入れることにより地域経済の底上げが図られて地域の活性化が生まれていきます。

この地域資源を掘り起こす地域創生型観光振興のためには、多方面にわたる事業との連携が必要であるとともに、とりわけ「宝さがし」を行い旅行者に伝えメッセージを発信する「ガイド」の確保やHPの作成をはじめとする運営管理体制の充実が重要となります。

永平寺町観光ボランティアガイドの会 会長 前 川 治 一

ガイド活動報告①

上志比(学校関係)

上志比地区には曹洞宗大本山永平寺開祖道元禅師入越最初の道場「老梅山 吉峰寺」をはじめ1406年創立「華厳閣・興行寺」、大庄屋・赤井家の「馬上門」や弁財天白龍王大権現「へび神様」、他にも小舟渡遊園地かまぼろ温泉跡地や関西電力市荒川発電所など上志比地区には歴史ある名所が多くあります。

令和3年はコロナ禍に伴いボランティアガイド活動は校外学習として「ふるさと探求」～史跡を訪ねて～と題して歴史的背景、うら話や設立経緯などウオークラリーで歩きながら各名所を訪ね案内しました。

参加者は児童クラブの児童、中学1年生の生徒、藤巻・山王地区の方など日時は別々でしたが参加者の皆さんから「知らなかった事が今回、聞けて良かった」「もっと歩きたい」「半日の学習の中で特に印象に残ったことは私たちの地元、上志比の昔から受け継がれてきた素晴らしい文化や歴史を知ることが出来、それを知ることによって上志比への愛も深まりました。今後の生活では上志比の文化や歴史を発信できるようにしたい」など。年齢を問わず誰もが上志比の史跡・名所に興味・関心を持って下さった事がボランティアガイドとして励みになりました。

(副会長 多田美知子)

ガイド活動報告②

オンラインでの観光情報発信に挑戦!

本年新たな試みとして、町観光物産協会の事業と連携し、デジタルを活用した町の観光情報とボランティアガイドの会の活動を全国にPRいたしました。

実施日時/令和3年11月20日(土) 14:00～15:30

構成内容/永平寺町とも深いかかわりのあるえちぜん鉄道の紹介とその鉄道に乗って松岡駅にて下車し、観光ボランティアガイドとともにぶらり散策しながら松岡の町並みを紹介。



発信内容/ (1) 国の登録有形文化財 えちぜん鉄道松岡駅
(2) 松岡の歴史と十二曲りの町並み紹介
(3) 芭蕉が立ち寄った天龍寺
(4) 松岡古墳群～春日山古墳と石室
(5) 酒造りの歴史と酒蔵

<感想>

世界仮想旅行社を通じての発信で、ウェブガイドに挑戦しました。初めての事で緊張しましたが、楽しみながら出来ました。

コロナ禍の中での多様性に富んだボランティアガイドもすばらしいと思いました。

出演・語り手 町観光ボランティアガイドの会 西 芳子

地元再発見

(蔵王山)

蔵王山は標高547m安山岩類で出来た山で、「吉野ヶ岳」とも言われています。

奈良時代の僧 泰澄大師が開いた越前五山の一つで、その昔修験道の開祖役行者が大和吉野山に蔵王権現を祀る。泰澄大師は勧請し、祀ったことから「蔵王山」と呼ばれています。開いた山寺は十一面観音、蔵王権現が祀られ、白山信仰（真言宗）と大峰信仰（天台宗）の神仏の集まっている霊山灼かな珍しい山です。

ところで山頂の拝殿の扁額（へんがく）「蔵王大権現」の文字は永平寺六四世大休悟由禅師、「観世音」「多聞天」「蔵王社」は五十世玄透即中禅師の揮毫である。大本山永平寺は白山権現を守護神として崇めており雲水達は毎年白山登山を行っています。昔は白山へ向かうのは容易でなかった為、蔵王山に登っていたようです。両禅師の揮毫というのは余程のことで交流が大変深かったのだと思います。又当時の俳句、数多くの絵馬が掲げられており、特に夢楽洞万司の江戸後期の一番古い神馬図などは見どころの一つです。ちなみに福井駅前の大岡薬局は夢楽洞万司の末裔（まつえい）、社殿には天正三年一向一揆で焼失後再建され、「蔵王権現像」「聖観音」「多聞天」が祀られています。

4月18日は泰澄大師の入寂日で吉野に残る真言密教の遺産として毎年蔵王山祭（春祭）があり、蔵王堂が開帳されますので歴史を感じていただければと思います。（吉田静子）

ボラガイの会独自視察研修 (小浜市)

小浜市にて当会独自の視察交流研修を行いました

実施日時／令和3年10月27日(水) 8:30～17:00

実施場所／小浜市内

参加者／当会より8名、若狭語り部の会より5名の計13名

小浜市の観光ボランティア「若狭の語り部」による、市内観光地の説明方法を学び、今後のガイド力アップをはじめ資質の向上を目指すことを目的に行った。

参加者からは、「料亭「蓬嶋楼」では、歴史、建築方法、家具類等について、造詣深い説明が印象強く、歴史への考察の必要性を強く感じた。小浜城址では、古絵図をはじめラミネートされた多くの緻密な歴史資料で市の形成過程が理解でき、資料の使い方が参考になった。

「若狭の語り部」の皆さんは、ガイドを数多くこなしておりユーモアを交えた話し方や行政と携した資料作成が参考になった。」等々、今後の活動視点で大いに刺激になったと考えます。（前川治一）

県内先進地研修に参加して

令和3年11月11日（木）、坂井市三国町にて「福井県観光ボランティアガイド」研修会が開催されました。当日は、県内ボランティアガイド約40名（永平寺町ボランティアガイドの会からは5名）が参加、各市町のボランティアガイドの活動状況、問題点など活発に意見交換が行われました。

午後からは、三国海岸コースを5コースに分かれ「ボランティアガイドきたまえ三国」さんの軽妙な案内により、現地視察研修を行いました。

特に興味を惹いたのは、海岸端に位置する国指定史跡（昭和5年）「丸岡藩砲台跡」です。1852年沿岸警備のため築かれたもので、土塁と5ヶの砲眼が弧状に配置され、一瞬ではありますがタイムスリップしたのは、私だけではなかったのでは……。原形をこれだけよく留める砲台跡は全国的にも貴重であるとのことでした。三国にこのような史跡があるなんて初めて知りました。

本研修で得た貴重な体験を、今後の活動に役立てるとともに、機をみてゆっくり探訪してみたい気持ちに駆られました。（大谷 進）



三国 砲台跡

上志比地区のまちあるきガイドブックを作成

昨年度の「松岡十二曲り」に続き、本年度は過去からの資料等を取りまとめ「上志比地区」のまちあるきガイドを作成しました。

今後とも永平寺町の各地区ごとの、歴史・文化、自然・風土などの整理を行っていく予定です。



(事務局)

永平寺町観光ボランティアガイドの会 新規会員募集中!!



おもてなしの心を大切にし、訪れる方々に、永平寺町の自然・歴史・文化などの魅力を一緒に紹介していきませんか。